

# 野外活動施設における学生ボランティアに関する研究

—特にその経験効果について着目して—

福島 雅実 (生涯スポーツ学科 野外スポーツコース)  
指導教員 中野 友博

キーワード：野外活動施設 学生ボランティア 経験効果

## 1. 序論

青少年にとって野外教育は、極めて有効であるとされる。野外教育場面での若い世代の指導者は、子どもたちにとって最も身近な存在であり、良き相談相手となる。また、リーダーとして関わる青年にとっても、自らの豊かな人間形成を図り、貴重な体験を積むことができる。

そこで本研究は、野外活動施設でボランティア活動をしている学生を対象に、ボランティア活動をすることによって得られた効果について明らかにすることを目的とする。また、ボランティアの経験効果を明らかにするため以下の仮説を設け調査を行った。

【仮説1】野外活動施設における学生ボランティアは“今年から始めた人”と“1年以上の経験者”の経験別に比較すると“1年以上の経験者”の方が援助成果得点は高い。

【仮説2】野外活動施設における学生ボランティアは“男性”と“女性”の男女別に比較すると“女性”の方が援助成果得点は高い。

## 2. 研究方法

〈対象者〉K野外活動センターでボランティア活動をしている学生 80 名を対象にアンケートを実施し、郵送法で 58 名の回答を得た。

〈調査時期〉2011 年 9 月下旬～10 月上旬

〈調査内容〉①援助成果について：妹尾・高木<sup>1)</sup>の援助成果測定尺度 3 因子 15 項目に、質問 5 項目を追加した計 20 項目。②経験効果について：今までの活動の中で「1 番良かったこと・嬉しかったこと」、「1 番苦労したこと・辛かったこと」の内容と、「その経験で学んだこと」、「その後の自分自身の変化」についての自由記述式回答、計 6 項目。③ボランティア活動について：「やりがい」と「継続理由」を問う 2 項目。

## 3. 結果及び考察

①援助成果について：全体の援助成果得点の平均点は 4.44 (SD=0.28)。最も得点が高かった項目は「12. 新しい出会いがあり、人間関係の輪が広がった」4.84 (SD=0.49) であった。援助成果測定尺度で得た得点を、3 つの因子別に平均点を集計した結果、“自己報酬感”が 4.51 (SD=0.53)、“愛他的精神の高揚”4.10 (SD=0.74)、“人間関係の広がり”が 4.57 (SD=0.63) であった。経験別・男女別の比較で

は差が見られず、仮説1・仮説2は支持されなかった。その結果を表1・表2に示した。

表1：援助成果得点の経験別比較

因子名	1年以上		今年から		U	p
	M	SD	M	SD		
自己報酬感	4.50	0.49	4.52	0.60	402.00	n. s.
愛他的精神の高揚	4.08	0.79	4.12	0.68	412.00	n. s.
人間関係の広がり	4.61	0.47	4.53	0.79	377.50	n. s.

表2：援助成果得点の男女別比較

因子名	男性		女性		U	p
	M	SD	M	SD		
自己報酬感	4.35	0.73	4.50	0.53	323.00	n. s.
愛他的精神の高揚	4.11	0.90	4.10	0.68	307.00	n. s.
人間関係の広がり	4.48	0.84	4.61	0.53	334.50	n. s.

②経験効果について：「1 番良かったこと・嬉しかったこと」を経験することで、子供や人との接し方を学び、周りの意見を聞き入れる力を身につけ、努力や経験の必要性が理解されたと考えられる。その後、コミュニケーション力の向上や、次の活動への意欲向上、これまでの意識や見方の変化が見られた。また、「1 番苦労したこと・辛かったこと」を経験することで、人間関係に関して自分自身で見つめ直し、今よりも更に努力や経験が必要だということを学んだ。その後、これから前向きに活動をしていこうという意欲や、人前が苦手であっても前の自分より少しずつ人前に立つことに慣れてきたといった自分自身の成長が多く見られた。

③ボランティア活動について：やりがいは「活動そのもの」30%、「参加者や他の人のため」34%、「自分自身の成長のため」36%。また、継続理由は「自分自身の成長のため」73%が最も多かった。

## 4. まとめ

援助成果得点では、経験・男女別で差がなかった。しかし、自由記述回答では「学んだこと」、「自分自身の変化」についての内容を経験・男女別で比較すると、全体的に“人間関係の広がり”の因子の割合は低いが、その他の“自己報酬感”、“愛他的精神の高揚”の因子でそれぞれ多寡の違いが見られた。

## 5. 参考・引用文献

1) 妹尾香織・高木修 (2003) 援助行動経験が援助者自身に与える効果：地域で活動するボランティアに見られる援助成果、社会心理学研究第 18 巻第 2 号 106-118